



7月号

2022年7月1日

おしらせ

桜ヶ丘第一保育園

☎ 042-374-3098

FAX 042-374-2828

URL kodama-kai.org

異常な暑さ・・・上手に乗り切りましょう！



6/27、例年に比べかなり早い梅雨明け。明けたと思ったら、関東は猛暑日が続きました。今年も暑くなりそうです。例年のように梅雨の時期に“日よけテント”を設置して、園庭には子ども達が涼めるように“ミスト”も設置しました。

ここ数年、暑さが尋常ではない感じですね。園としても、なるべく子ども達に“水遊び”などの機会を設け、夏を涼しく、そして楽しく過ごせるようにしていますが、熱中症対策として“暑さ指数(WBGT)”を参考に、子ども達の生活に支障が無いよう、外遊び・散歩を控えるなど、状況を見ながら安全に保育ができるように心掛けていきます。

これから夏休み等で、ご家族の時間も増えると思います。ご家庭でも、こまめな水分補

給を心がけ、無理のない計画を・・・。

また、新型コロナもじわじわ増加傾向。他の夏の感染症も出ています。暑さと共に感染症にも気を配り、元気に夏を乗り越えたいですね。

7・7 ～もうすぐ七夕！！～

今年も、2階に上がる踊り場に笹を飾りました。短冊を用意しますので、お子さんと一緒に飾ってくださいね。

(毎年、年長の子供達と一緒に竹を切りに行っていますが、今年は予定していた6/28が危険な暑さだったため中止。

今年は大人だけで取りに行き、準備しました。)



ミストの出ている下で、涼しさを感じながら遊ぶ子ども達

～退園・入園のお友達～

退園：Mちゃん(つくし) 元気でね！

入園：Iくん(つくし)

7月から入ります。よろしく！

7月生まれのお友達



配布したお知らせには、名前を掲載しています。

おめでとう!

～7月の日程～

5日(火) 避難訓練

6日(水) ブラッシング指導(年長)

11日(月) 布団乾燥

14日(木) 乳児健診

15日(金) 夕涼み会(年長)

21日～夏期保育開始(～8/31まで)



この夏期保育期間中に、職員が交替で研修等の休みを取らせていただきます。

保護者の皆様のご理解・ご協力をお願い致します。



6/16 全園児歯科健診

毎年、6月に全園児の歯科健診を行っています。園医の『たまの森こども歯科』の赤井亮子先生に、6/16と6/23に健診をしていただきました。

今回も、昨年同様、虫歯のある子が少ないことが評価されました。保育園では“間食”をしない事を保護者の皆さんにお伝えしていますが、園生活の中でも午前におやつは入れず、特に乳児は、昼食(午前食)をしっかり食べ、午後食を入れ、一日4回食(家庭の朝食・夕食を含む)という考えで食事を提供しています。

また、園生活の中で歯ブラシは使っていませんが、食後はお茶を飲み、うがいなどで口腔内をきれいにし、唾液のパワー(自浄作用・抗菌作用・再石化作用など)も借りながら、正しい食習慣を心がけています。

虫歯が少ないのも、家庭での保護者の皆さんが子ども達の歯をチェックしていただいているおかげだと思っています。保育園でも、年長を対象に、たまの森こども歯科のスタッフの方に来ていただき、ブラッシング指導を行い、子ども達に正しい歯磨きの仕方や、知識を紙芝居やクイズ形式で楽しく教えていただいています。今年も7/6(水)に予定しています。



昨年も赤井先生に同様の事を指摘されたのですが、最近の傾向として、子ども達の顎が小さくなってきていることを心配されていました。このことは、桜ヶ丘第一の子ども達にも当てはまるようです。

柔らかいものを好んで食べる食生活の影響で、顎が小さくなり、歯並びにも影響が出ます。さらに、指吸い癖があったり、緊張の強い子なども下唇をかむことでかみ合わせが悪くなったりするようです。

大切な歯を守るためにも、歯磨きの習慣を身につけることはもちろんですが、子ども達の生活の変化(ストレス)にも気を配りたいものですね。

そして食習慣の中で“しっかりかむ”事が、脳への活性化にもつながります。子ども達が健康な生活を送るためにも、歯を大切に见守っていきましょう。

健診結果は、看護師がまとめて各家庭にお返ししています。健診で虫歯などが見つかったお子さんについては、是非、計画的に小児歯科に通って、しっかり治療してもらってください。



6/20・21・22 救命救急研修

桜ヶ丘第一保育園では、緊急時に備え、“園児の安全を守るために” 国士舘大学の救命救急士の月ヶ瀬先生を講師に招き、救命救急の研修を全職員を対象に行っています。

保育園では、SIDS(乳幼児突然死症候群)や誤飲・誤嚥等の事故が起こることを想定し、子ども達の大切な命を助けるため、訓練しています。救急車が到着するまでに約10分間に、胸骨圧迫やAEDなどの処置を施すことで、何もしないで待つより、10倍命を助けることに繋がります。

特にAEDは5分以内に施すことが大切だと言われています。

0歳児と乳幼児の人形を使い、年齢に合った胸骨圧迫の方法や、誤嚥した時の対処方法・AEDの使い方などを教えていただきました。実際に使うことが無いのが一番ですが、万が一起きた時には職員が協力し合い、たった一つしかない子ども達の命を守るため、意識を持ち保育を心がけています。



子どもが誤嚥した時の背部叩打法



別の日程でしたが、保育園内に設置出来る災害時の『仮設トイレ』を組み立て、使い方も確認しました。